

**2012年3月期
第3四半期決算説明資料**

**2012年2月3日
株式会社IHI**

2012年3月期 第3四半期連結決算の概要



(億円)

	'10年度3Q	'11年度3Q	増 減
受 注 高	7,301	8,615	1,313
売 上 高	8,379	8,323	▲ 55
営 業 利 益	443	274	▲ 169
経 常 利 益	380	234	▲ 145
税金等調整前 四半期(当期)純利益	270	395	125
四半期(当期)純利益	189	167	▲ 21

特段の記載がない限り、各項目の数値は億円未満を切り捨てて表示している。

'11年度3Qにおける特別損益(160億円)の内訳：	投資有価証券売却益	141億円
	固定資産売却益	31億円
	災害保険金収入	20億円
	関係会社株式売却益	9億円
	投資有価証券評価損	▲37億円
	減損損失	▲4億円

セグメント別 連結決算の概要

(億円)

	売 上 高			営 業 利 益		
	'10年度3Q	'11年度3Q	増 減	'10年度3Q	'11年度3Q	増 減
資源・エネルギー	2,221	2,120	▲ 100	175	39	▲ 136
船舶・海洋	1,442	1,289	▲ 153	89	92	2
社会基盤	797	753	▲ 43	73	58	▲ 14
物流・産業機械	909	898	▲ 10	8	8	0
回転・量産機械	991	1,212	220	66	83	17
航空・宇宙	1,913	1,976	63	52	27	▲ 25
そ の 他	929	750	▲ 178	20	15	▲ 4
調 整 額	▲ 827	▲ 679	147	▲ 43	▲ 51	▲ 8
合 計	8,379	8,323	▲ 55	443	274	▲ 169

営業利益の前年同期比増減要因(セグメント別)

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	資材費の 変 動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー	▲ 78	▲ 56	▲ 2	▲ 23	23	▲ 136
船舶・海洋	▲ 22	47	▲ 8	▲ 20	5	2
社会基盤	▲ 9	▲ 3			▲ 3	▲ 14
物流・産業機械	▲ 2	5			▲ 3	0
回転・量産機械	50	▲ 6			▲ 27	17
航空・宇宙	23	▲ 17	▲ 3	▲ 34	6	▲ 25
そ の 他	▲ 8	11			▲ 7	▲ 4
調 整 額		▲ 8				▲ 8
合 計	▲ 46	▲ 27	▲ 13	▲ 77	▲ 6	▲ 169

セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

対前第3四半期比営業外損益増減要因分析

◇営業外損益の増減要因

(24億円)

(億円)

	'10年度3Q	'11年度3Q	増減
金融収支	▲20	▲12	7
為替差損益	▲61	▲25	35
持分法による投資損益	3	4	0
その他	15	▲5	▲20
営業外損益の増減額	▲63	▲39	24

セグメント別 受注高

(億円)

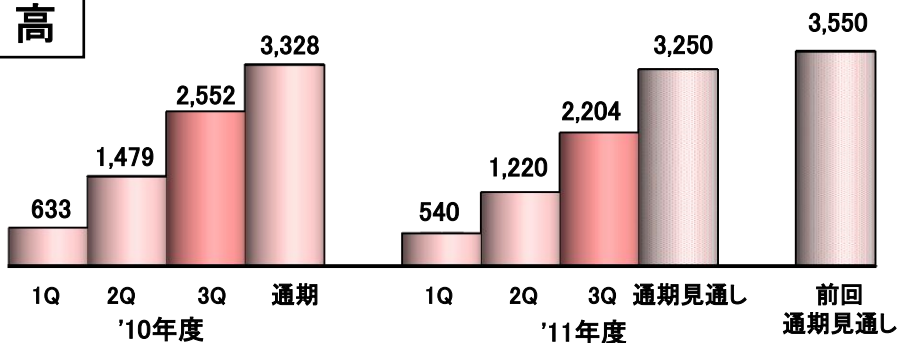
	受 注 高		
	'10年度3Q	'11年度3Q	増 減
資源・エネルギー	2,552	2,204	▲ 347
船舶・海洋	578	493	▲ 85
社会基盤	692	1,708	1,015
物流・産業機械	942	1,049	106
回転・量産機械	1,021	1,243	222
航空・宇宙	1,564	1,789	224
その他	849	732	▲ 117
調整額	▲ 899	▲ 604	294
合 計	7,301	8,615	1,313

資源・エネルギー

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: ボイラ, 原子力機器, 陸船用原動機, 化学プラント, 貯蔵設備, F-LNG

受注高

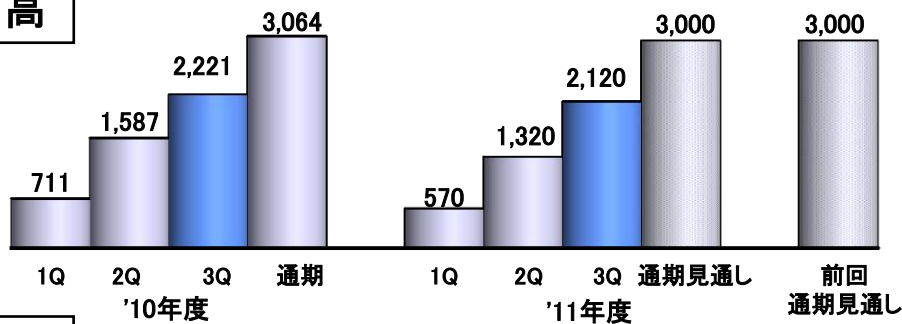


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

ボイラ, 化学プラントが増加したものの, 貯蔵設備が減少したため, 対前年同期比 ▲347億円 (▲13.6%) となった。

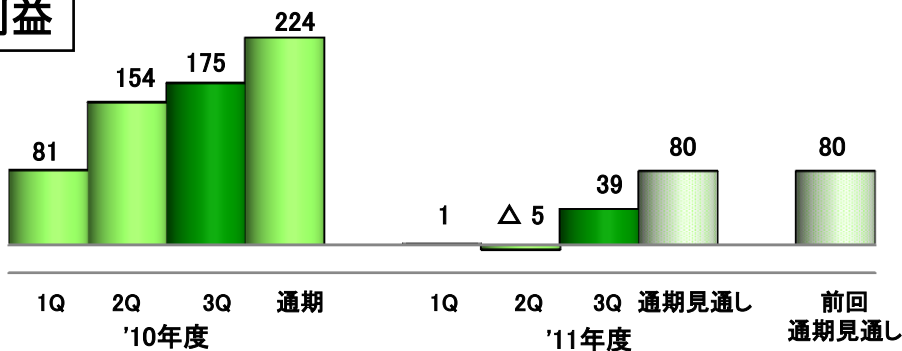
売上高



【売上高/営業利益】

原子力機器, 化学プラントが減収となったため, 対前年同期比 ▲100億円 (▲4.5%) / ▲136億円 (▲77.6%) の減収減益となった。

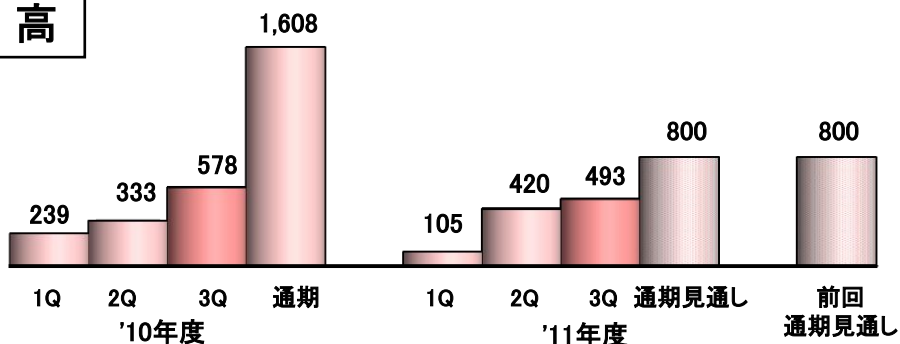
営業利益



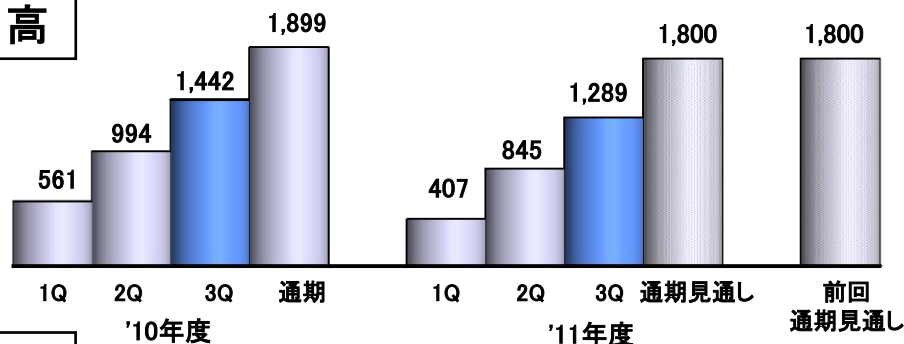
(億円/各期の金額は累計)

主要製品:新造船, 修理船

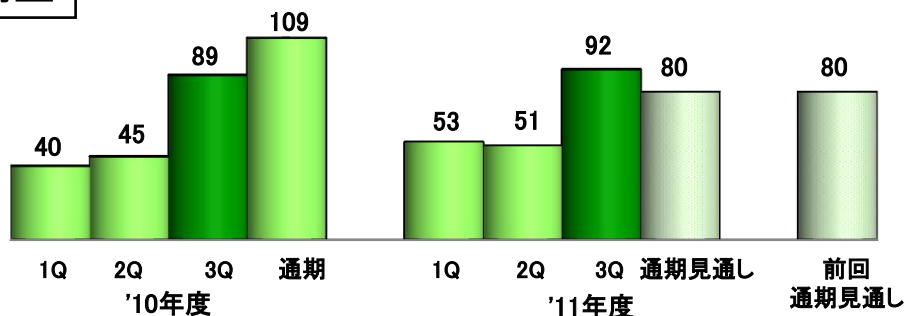
受注高



売上高



営業利益



<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

・新造船7隻の受注(タンカー1隻, バルクキャリア5隻, 電気推進船1隻)により, 対前年同期比 **▲85億円(▲14.8%)** となった。

・前年同期における受注隻数は, **9隻**(タンカー1隻, バルクキャリア8隻)であった。

【売上高/営業利益】

・新造船, 修理船ともに減収となったものの, 新造船の採算改善が減収や為替円高による減益要因を相殺し, 対前年同期比 **▲153億円(▲10.6%)** / **+2億円(+2.9%)** の減収増益となった。

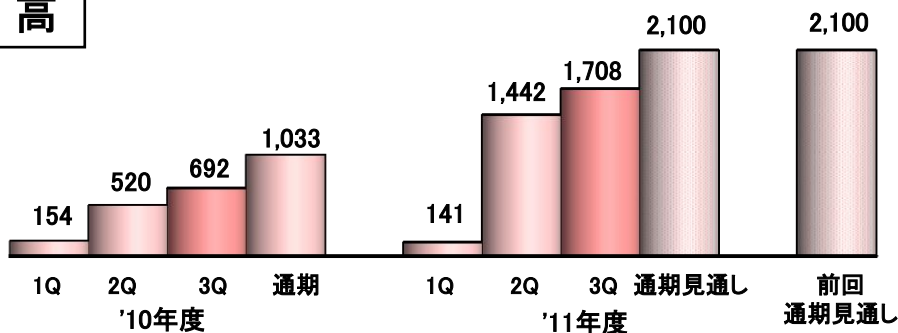
・当期はタンカー2隻, バルクキャリア14隻, 浚渫船1隻の合計**17隻**を引き渡した。

・前年同期における引渡隻数は, **12隻**(タンカー3隻, コンテナ船1隻, バルクキャリア7隻, 電気推進船1隻)であった。

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 橋梁, 水門, コンクリート製品, 掘進機, 不動産分譲・賃貸

受注高

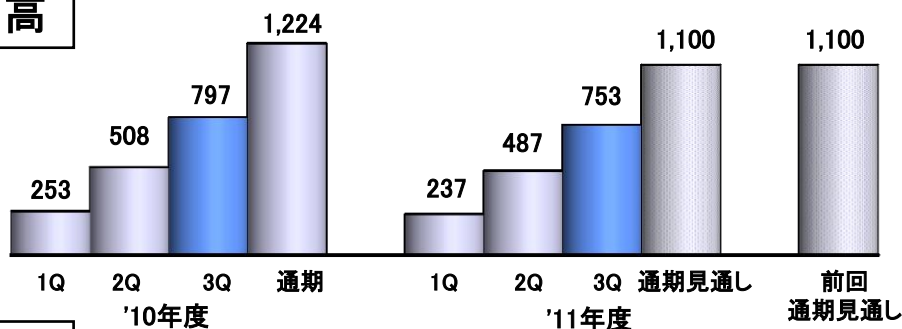


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

トルコのイズミット湾横断橋工事受注により、鋼製橋梁が増加し、対前年同期比 **+1,015億円(+146.6%)** となった。

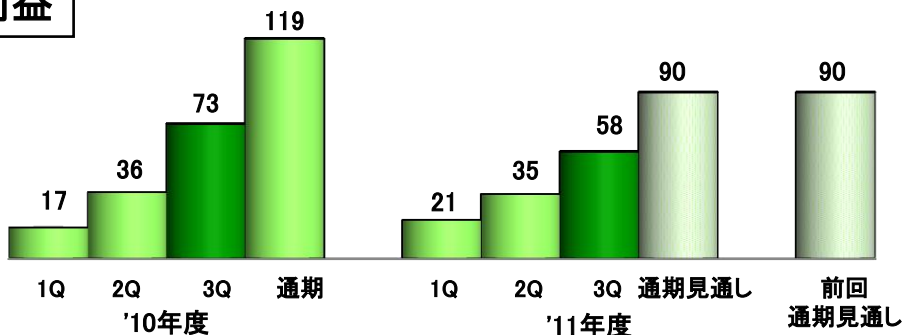
売上高



【売上高/営業利益】

不動産賃貸が増収となったものの、鋼製橋梁やコンクリート橋梁の減収により、対前年同期比で **▲43億円(▲5.5%) / ▲14億円(▲20.3%)** の減収減益となった。

営業利益

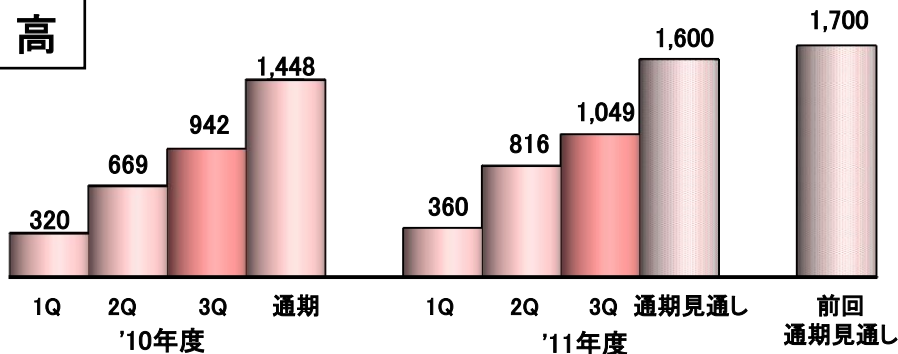


物流・産業機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 運搬機械, 物流システム, 製鉄機械, 製紙機械, 交通システム

受注高

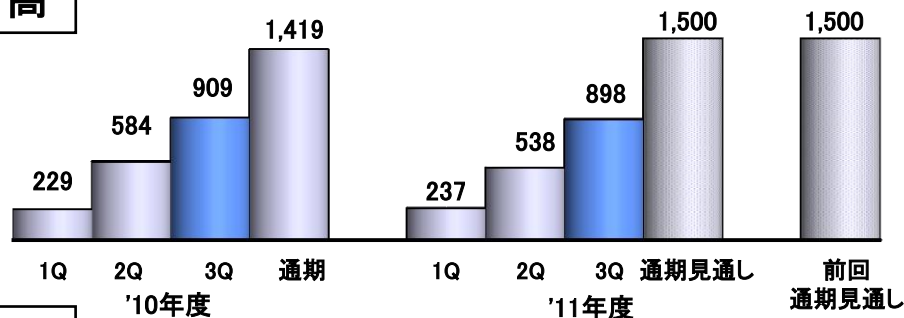


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

運搬機械が減少したものの、圧延機、交通システムの受注増加により、対前年同期比+106億円(+11.3%)となった。

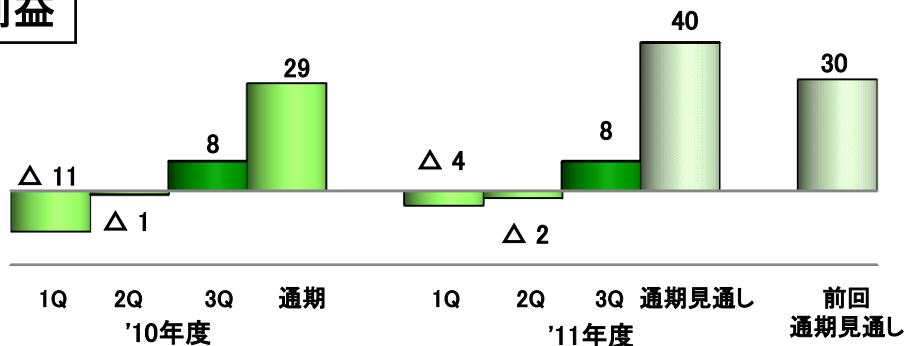
売上高



【売上高/営業利益】

物流システムが増収となったものの、交通システム、製紙機械が減収となり、対前年同期比▲10億円(▲1.2%)/+0億円(+3.2%)の減収増益となった。

営業利益

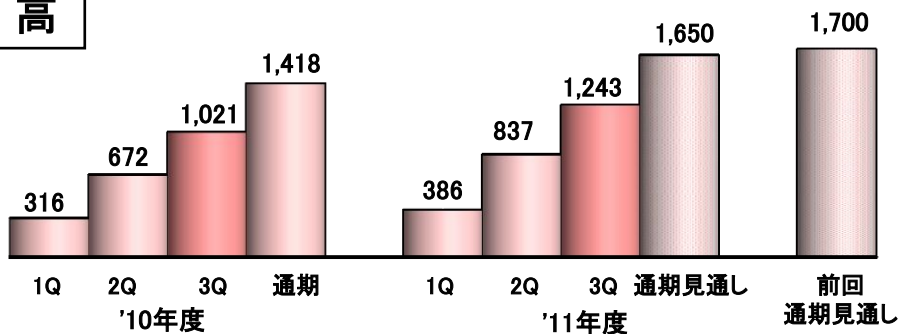


回転・量産機械

(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 圧縮機, 分離機, 車両用過給機

受注高

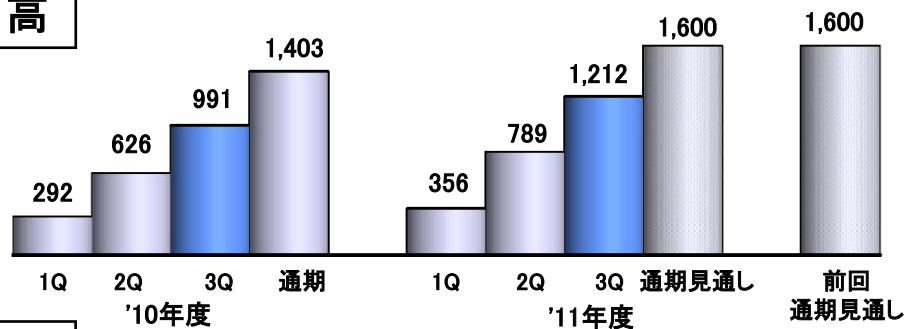


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

車両過給機や圧縮機の受注が大幅に増加したため、対前年同期比 +222億円(+21.8%)となった。

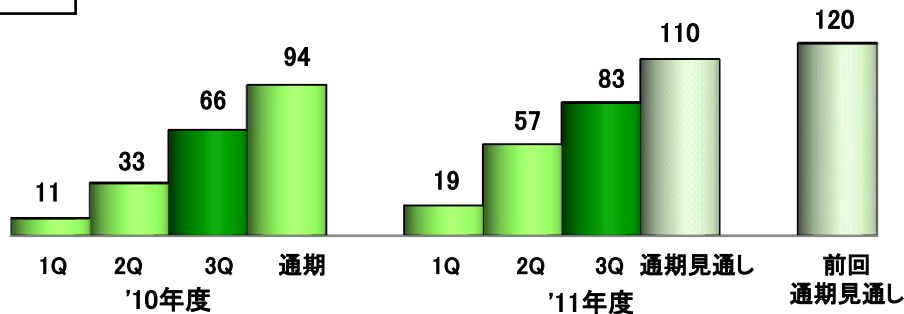
売上高



【売上高/営業利益】

車両過給機, 圧縮機が増収となったことで、対前年同期比 +220億円(+22.3%)/+17億円(+25.9%)の増収増益となった。

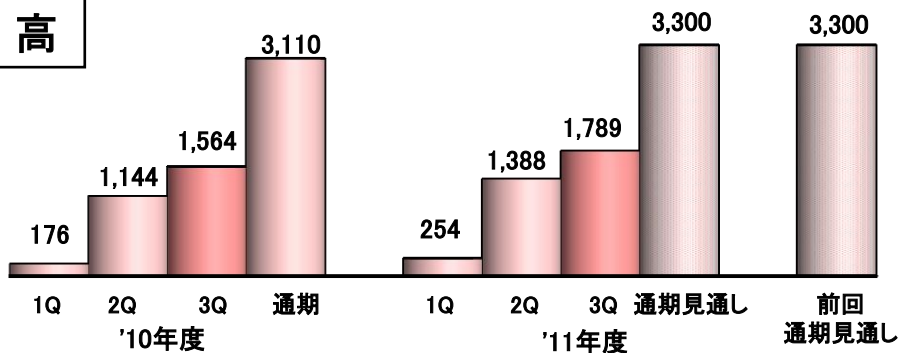
営業利益



(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 航空エンジン, 宇宙開発関連機器, 艦艇用ガスタービン

受注高

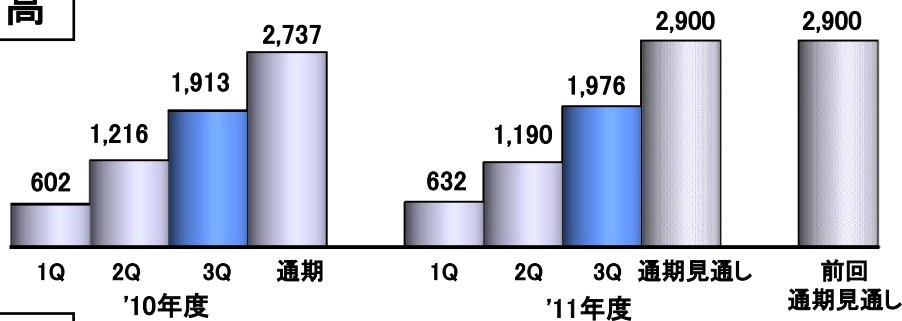


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

航空エンジンの大幅な受注増加により, 対前年同期比 +224億円(+14.4%) となった。

売上高

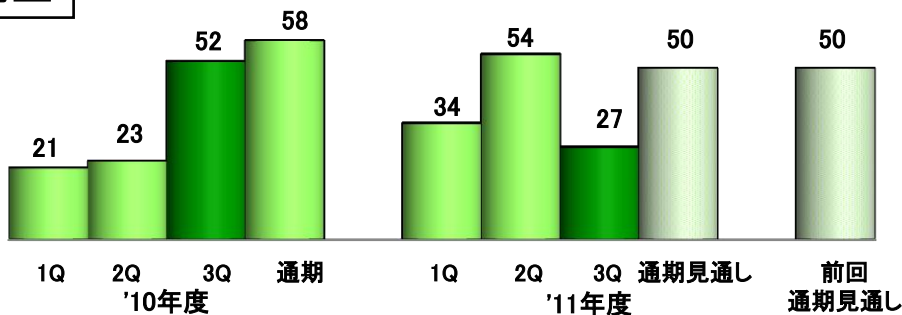


【売上高/営業利益】

・売上高は, 航空エンジンの増収により, 対前年同期比 +63億円(+3.3%) となった。

・営業利益は, 円高による減益要因や宇宙関連機器の採算悪化により対前年同期比 ▲25億円(▲ 48.2%) となった。

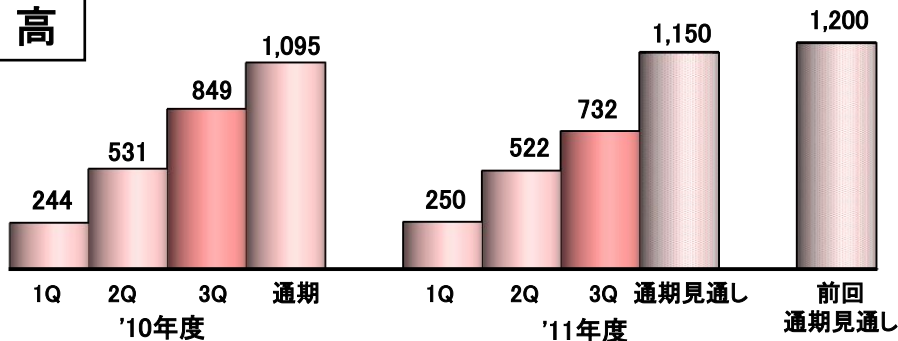
営業利益



(億円/各期の金額は累計)

主要製品: 船用ディーゼル, 建設機械, 農業機械, サービス

受注高

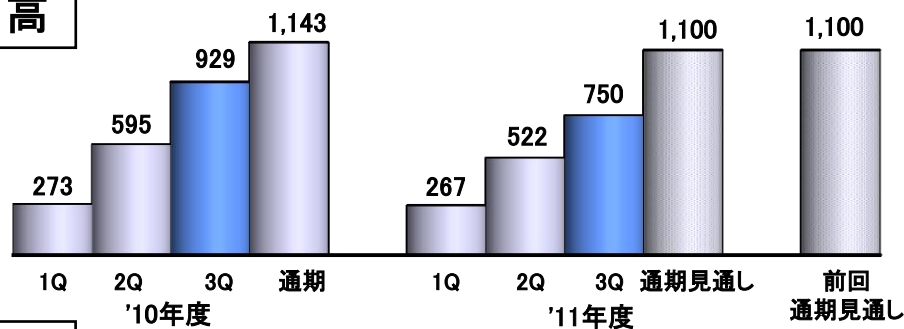


<対前第3四半期 増減内訳>

【受注高】

農業機械等が減少したことにより, 対前年同期比 ▲117億円(▲13.8%)となった。

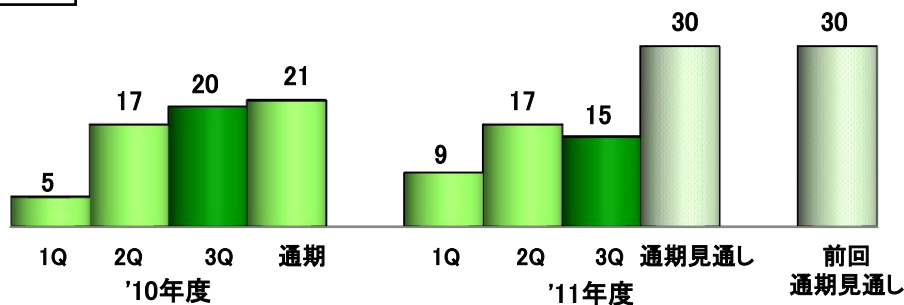
売上高

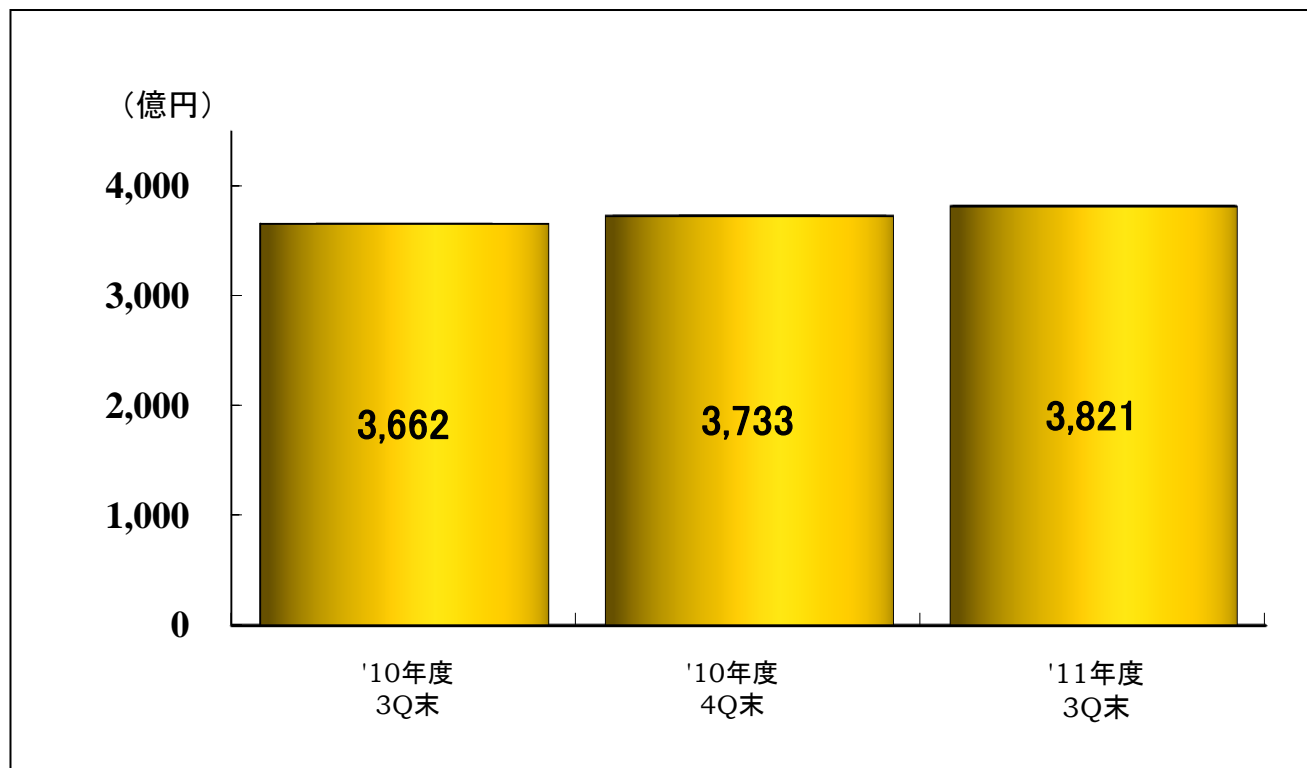


【売上高/営業利益】

ディーゼルエンジンや農業機械が減収となった結果, 対前年同期比 ▲178億円 (▲19.2%)/▲4億円(▲23.4%)の減収減益となった。

営業利益





有利子負債残高には、リース債務残高('10年度3Q末:117億円, '10年度4Q末:127億円, '11年度3Q末:149億円)を含む。

2012年3月期 通期連結業績見通し

前提為替レート
(第4四半期)

米ドル
ユーロ

80円
105円

(億円)

	前回見通し ('11年度通期) A	今回見通し ('11年度通期) B	前期実績 ('10年度通期)	増 減 B-A
受 注 高	13,500	13,000	12,009	▲500
売 上 高	12,000	12,000	11,872	0
営 業 利 益	430	430	613	0
経 常 利 益	330	330	514	0
当 期 純 利 益	280	220	297	▲60

セグメント別 連結業績の見通し

(億円)

	今回見通し			対前回見通し 増減		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
資源・エネルギー	3,250	3,000	80	▲300	0	0
船舶・海洋	800	1,800	80	0	0	0
社会基盤	2,100	1,100	90	0	0	0
物流・産業機械	1,600	1,500	40	▲100	0	10
回転・量産機械	1,650	1,600	110	▲50	0	▲10
航空・宇宙	3,300	2,900	50	0	0	0
その他	1,150	1,100	30	▲50	0	0
調整額	▲850	▲1,000	▲50	0	0	0
合計	13,000	12,000	430	▲500	0	0

Explore the Engineering Edge

IHI

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。